

第64回全日本バレーボール高等学校選手権大会「春高バレー」

大村工業高校優勝 おめでとう！



平成24年1月5日(木)～9日(月)、東京体育館で行われた第64回全日本バレーボール高等学校選手権大会「春高バレー」(男子)において、県立大村工業高校が日本一に輝きました。その大村工業高校バレーボール部の監督・選手の皆さんが、1月25日(水)に県庁玄関前で優勝を報告しました。



伊藤孝浩監督のあいさつ

生徒たちは、小・中学校の頃から県内の様々な方に支えられ、指導をいただいて成長しました。本大会では苦しい戦いもありましたが、生徒たちがよく耐え頑張ってくれました。

また、大会期間中、県民の皆様からの激励や温かいメッセージをたくさんいただき、改めて皆様に支えていただいていることを実感しました。ありがとうございました。



富永航一主将のあいさつ

1回戦・2回戦は自分たちのバレーボールができず苦しみましたが、試合を重ねるごとにチームが一つになっていくことを感じました。

その結果、全国優勝することができ、たいへん嬉しく思っています。



大会期間中は、連日報じられる大村工業高校バレーボール部の躍動感あふれる活躍に、心を躍らせました。そして、「一度負けた相手には二度負けない」というスローガンを掲げ、全国の強豪校を次々と倒し、ついには日本一に輝いたというニュースは、県民の皆様には大きな感動を与えました。私も、今回の報告会で、日本一を手にした大村工業高校バレーボール部員の皆さんの堂々とした姿に触れ、本県の高校生が大変な快挙を成し遂げたという喜びが更に大きくなりました。



平成24年1月25日
長崎県教育委員会教育長 渡辺 敏則